

競 技 注 意 事 項

- 1 (1) 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。
(2) WA 承認シューズリストの確認を行い、本大会へ参加すること。ただし、サークルから行われる投てき種目はシューズ規程の適用を除外する。
- 2 練習について
(1) 練習は補助競技場（サブトラック）を使用すること。但し、投てき練習は一切禁止する。
フィールド種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
(2) 本競技場内での朝の練習時間は、開門から放送等で指示された時間までとする。
- 3 招集について
(1) 招集所は、バックスタンド南側サブトラックへの通路に設ける。
(2) 各種目の招集開始時刻・招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	競技開始 3 0 分前	競技開始 2 0 分前
フィールド競技	競技開始 4 0 分前 (棒高跳のみ 7 0 分前)	競技開始 3 0 分前 (棒高跳のみ 6 0 分前)

- (3) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係で点呼を受ける。その際、アスリートビブス・腰ナンバー・スパイク・ランニングシューズ等の確認・点検を受ける。（腰ナンバーは各校で用意する。なお 1500m 以上の種目は招集の時に競技者係から配られる。）
 - ② 点呼の代理は認めない。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の点呼の際に競技者係に申し出ること。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
 - ④ 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ競技者係に申し出ること。
 - ⑤ リレーのオーダー用紙は競技者係（招集所）に提出する。（第 1 組目招集完了時刻の 2 時間前から 1 時間前までに）
- 4 アスリートビブスは胸部・背部ともにしっかりと付けること。腰ナンバーは定められたレーンの番号布を右腰やや後部に付けること。
- 5 競技について
 - (1) レーン、試技順はプログラムの記載順とする。決勝の組み合わせ（レーン順）はすべて番組編成員が公平に抽選する。
 - (2) トラック種目で同記録の場合、予選は抽選を行う。
 - (3) フィールド種目において競技運営の都合上、計測ラインを設ける場合がある。
 - (4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
(走高跳) 男子：1m45(練習)1m50－1m55－1m60…1m75 以降 3cm きざみ
女子：1m20(練習)1m25－1m30－1m35…1m45 以降 3cm きざみ
(棒高跳) 男子：2m30(練習)2m40－2m60－2m80…3m20 以降 10cm きざみ
女子：1m90(練習)2m00－2m10－2m20…2m30 10cm きざみ
 - (5) 決勝において男子 7 着（位）、女子 6 着（位）で同着（同成績）が生じた場合について。
 - ・トラック競技・・・抽選により県大会出場権を決定する。
 - ・フィールド競技
 - ①走高跳・・・1 位決定戦に準じ、出場資格決定戦を実施する。
 - ②その他・・・抽選により県大会出場権を決定する。
- 6 競技用具について
 - (1) 棒高跳用ポール、やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用する。
 - (2) 棒高跳用ポールは、自己のポールを使用する。
 - (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査は、競技場南器具庫前で競技開始 1 時間 3 0 分前から 10 分間おこなう。
- 7 その他
 - (1) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等を持ち込むことはできない。
 - (2) 競技エリアに日傘、折りたたみ椅子、大型クーラーボックス等、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。
 - (3) 一眼レフ・ビデオカメラ等で撮影する場合は、各校の顧問印のある許可証が必要。
 - (4) 投てき練習は、審判員の指示により競技場内でおこなうこと。
 - (5) フィールド種目（特に投てき種目）で、練習用具（チューブ・ボール類等）を競技エリアに持ち込むことはできない。
 - (6) 貴重品は各校各自で管理し、盗難には十分に注意すること。
 - (7) 各学校の使用した場所は清掃に努め、ゴミは各自持ち帰りとする。
 - (8) 選手は更衣室の滞在を短時間にすること。